

下水道を題材にした環境教育(事例:長野県坂城町立村上小学校4年生)

- ✓下水道を題材にした環境教育への支援制度(事務局:循環のみち下水道環境教育支援協議会)を利用した取り組み(平成22年度実施)
- ✓校内を流れる「ホタル川」が汚れたことをきっかけに、ホタルの生息に必要なきれいな川へと復活させるという観点から下水道を題材にした教育を実施
- ✓子供達の好奇心を生かし、活性汚泥等を使用した様々な比較実験等を実施
- ✓家庭や地域への発信にとどまらず、地方紙・地元ケーブルテレビなどのマスコミや公共の場を利用した情報発信



発表会(授業参観)



校内を流れる「ホタル川」

下水道に関する主な取り組み

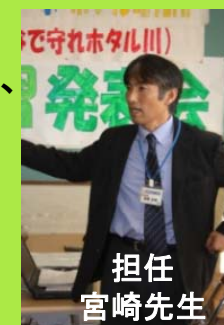
- ✓家庭排水の水質検査(COD,NO₂,pH)
- ✓砂や石を入れたペットボトルで簡易浄化装置の作成
- ✓下水処理場の見学、及び担当者からの聞き取り調査
- ✓顕微鏡による微生物観察
- ✓活性汚泥等による水質浄化実験(空気の有無、日光の有無など、様々な比較実験を実施)

担任の先生の話

今回の取り組みでは、小学校の授業全般に焦点をあてます。

- 理科(生き物)
- 社会(下水道)
- 国語(発表する文章)
- 総合(その他)

※「教員にとって、水質検査等をする器具を準備するためにも、こういった支援制度は非常に魅力的である。」



担任
宮崎先生